

ゼミナール公共「将来に向けたマネープランを立てよう」

1 限りあるお金をどう使う？

(1) 給与明細についての説明として最も適切なものを選び、番号に○をつけよう。

- ① 「差引支給額」とは、「基本給」と「残業手当」を足したものである。
- ② 「総支給額」からは、税や社会保険料などが差し引かれている。
- ③ ③ 実際に手元に残る収入は、「総支給額」から「総控除額」を引いたものである。
- ④ 給与明細だけでは、いわゆる「手取り」は分からない。

支給	基本給	残業手当					
	205,000	15,000					
控除	健康保険	厚生年金	雇用保険	社会保険合計	課税対象額	所得税	住民税
	10,890	20,130	660	31,680	188,320	4,340	8,175
勤怠	労働日数	出勤日数	有給休暇日数	欠勤日数	遅刻回数	早退回数	時間外労働
	21	20	1	0	0	0	9:50
	総支給額	総控除額					差引支給額
	220,000	44,195					175,805

←給与明細の例

(2) A～H は一人暮らしで想定される出費の項目である。それぞれの項目について、選択肢①～③のうち、あなたにとって望ましいものの番号に○をつけよう。

(例) A：住居費（家賃）	B：食費	C：交際費	D：家具・家事用品費
① 大都市中心部に住む… 7 万円 ② ② 中規模都市に住む… 5 万円 ③ 郊外に住む… 4 万円 	① 外食がほとんど… 5 万円 ② 外食が半分くらい… 4 万円 ③ ③ ほぼ自炊する… 3 万円 	① 人付き合いが多い… 3 万円 ② ② 週に 1 回は人と遊ぶ… 2 万円 ③ 月に 2 回は人と遊ぶ… 1 万円 	① 最新モデルを買う… 2 万円 ② ② 旧型の商品を買う… 1 万円 ③ フリマサイトを利用する… 0.5 万円 
E：被服費	F：交通・通信費	G：娯楽費	H：その他（水道光熱費など）
① ブランド物を買う… 3 万円 ② ② 新商品を買う… 1 万円 ③ たまにしか買わない… 0.5 万円 	① 自動車を保有… 5 万円 ② カーシェアリングを利用… 2.5 万円 ③ ③ 公共交通機関を利用… 1.5 万円 	① 旅行によく行く… 3 万円 ② ② 趣味にお金を使う… 1.5 万円 ③ たまにしか使わない… 0.5 万円 	① 快適さが最優先… 2 万円 ② 適度に使う… 1.5 万円 ③ ③ 節約を意識… 0.8 万円 

(3) (2) で選んだ番号をもとに、①および②に金額を書き込もう。もしも、②の金額がマイナス（赤字）になってしまう場合は、(2) の選択を見直してみよう。

(例) (1) よりおよその「手取り」	A～H の合計	差額（余剰資金）
17.5 万円	あなたの考えに最も近い選択肢の費用の合計は ① (15.8) 万円	② (1.7 万) 円

2 資産形成をどのように考える？

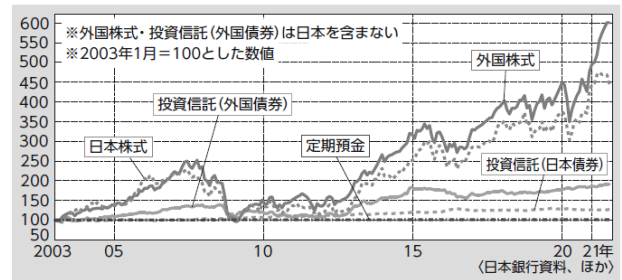
(1) 図を参考に、資産運用における①～③の場面について、最適な金融商品をそれぞれ線でつなごう。

	概 要	安全性	流動性	収益性
預金	金融機関にお金を預けて、利子（利息）を得る	★★★	★★★★	★
債券	国債や社債などを購入し、一定の期間ごとに利息を得る	★★★	★★	★★
株式	企業の株式を購入し、値上がり益や配当を得る	★	★★	～★★★★
投資信託	複数の投資家から集めた資金を、専門家が債券や株式などで運用し、その成果を投資家に分配する	★	★★	～★★★★

* 確率は低いが、発行する政府・企業の財務状況が悪化した場合、支払いが遅れたり行われなくなったりして、回収不能となることがある。

〈全国銀行協会資料、ほか〉

↑ 主な金融商品

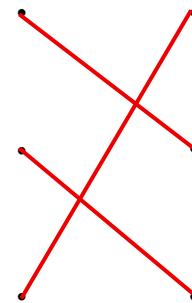


↑ さまざまな金融商品のリターン（収益）

【場面①】老後に備えるために、リスクとリターンのバランスがとれた方法で、時間をかけて運用したい。

【場面②】余剰資金をもとに、安全性が低くても、長期的にみて大きなリターンの可能性がある方法で運用したい。

【場面③】日々の生活のために、リターンは少なくとも、必要な時にすぐに換金できるようにしたい。



預金

債券

株式・
投資信託

3 あなたならどんなマネープランを立てる？

(1) 図を参考に、将来あなたが実現したいことを考えてみよう。

大学の学費 約410万円 (4年間、私立文系)	運転免許 約30万円 (教習所で取得)	外国語教室 約26万円 (週1回を1年間) 実会話
海外旅行 約50万円 (ヨーロッパ1週間)	海外留学 約500万円 (1年間)	結婚式 約150万円 (自己負担額)

〈SMBC信託銀行資料、ほか〉

↑ 10年間で起こりうる“大きな出費”の例

(例)

あなたが実現したいこと

(1) 年後に、
(**運転免許を取得**) したい。
そのためには、約 (**30**) 万円が必要になる。

(2) 毎月 2.5 万円を元本に金融商品を選べるとした場合、(1) で決めた「実現したいこと」に向けて、あなたならどの金融商品にいくら割り振るだろう。理由も記入しよう。

(例)

預金	債権	株式	投資信託
(1.5) 万円	(0) 万円	(0) 万円	(1) 万円
なぜなら、 預金によって運転免許取得のための資金を確実に貯めつつも、投資信託にも割り振ることで預金以上のリターンを確保し、余剰資金を残すことを目指す から。			